

令和3年度の主な事業

◆**総務費**

ふるさと宇美町応援寄附事業	2億6,756万3千円
庁舎維持管理事業	1億6,666万6千円
キャッシュレス決済推進事業	7,395万1千円
情報システム共同化事業	7,245万8千円
地域コミュニティ支援事業	6,225万6千円
個人番号カード交付事務事業	3,027万6千円
事業継続支援金給付事業	2,657万7千円

◆**民生費**

福祉巡回バス運行事業	4,252万9千円
子育て世帯臨時特別給付金給付事業	6億8,452万7千円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	3億5,193万3千円
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	3,591万9千円
特定教育・保育施設運営事業	6億7,882万7千円

◆**衛生費**

ごみ処理事業	5億5,340万4千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	3億8,587万8千円
母子衛生事業	4,440万1千円

◆**労働費・農林水産業費・商工費**

働く婦人の家運営事業	1,890万9千円
農業基盤保全事業	3,151万3千円
商業活性化事業	909万2千円

◆**土木費**

道路橋りょう維持管理事業	2億6,771万3千円
公園管理・整備事業	1億8,337万4千円
都市計画街路整備事業	2,950万円

◆**消防費**

防災対策事業	6,842万3千円
消防団活動支援事業	3,620万2千円

◆**教育費**

幼稚園施設等利用給付事業	1億6,364万1千円
小中学校給食管理事業	1億4,307万1千円
桜原小学校施設整備事業	1億3,569万円
就学援助事業	6,976万8千円

◆**公債費 9億5,026万5千円**

◆**災害復旧費**  
(現年)公共土木施設等補助災害復旧費  
2億2,227万4千円

# 令和3年度決算報告

が増加したこと、前年度から6.4ポイント改善し、89.3%となりました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、増加し続ける社会保障費や公共施設等の老朽化による更新工事など財政需要の増加に対応するため、事業の選択と集中を徹底していく方針です。

※1 財政構造の弾力性を測定する指標。この比率が低いほど、普通建設事業などの臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。

# 報告

令和3年度の決算が、令和4年9月定例会議で審議され、9月21日(水)の本会議において認定されました。

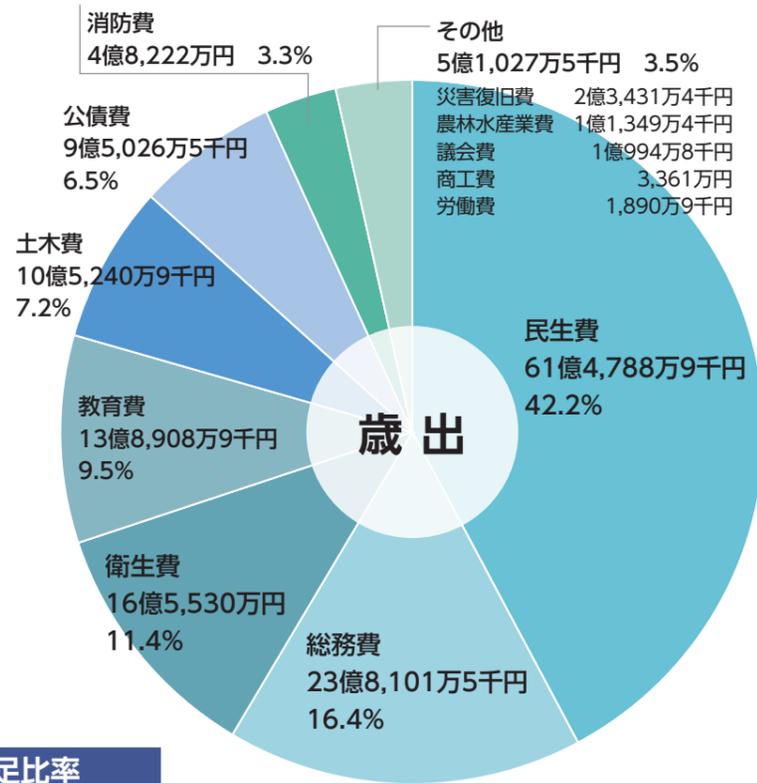
一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額153億4,751万8千円(前年度比15%減)、歳出総額145億6,846万2千円(前年度比17%減)で、形式収支は7億7,906万6千円の黒字でした。

前年度との比較において、歳入の減額は、令和2年度に実施された特別定額給付金給付事業費補助金を含む国庫支出金が25億2,893万2千円減となったことなどによるものであり、歳出の減額は、特別定額給付金および財政調整基金積立金、庁舎維持補修工事請負費などの減により総務費が前年度比4.1億5,710万1千円減となったことなどによるものです。

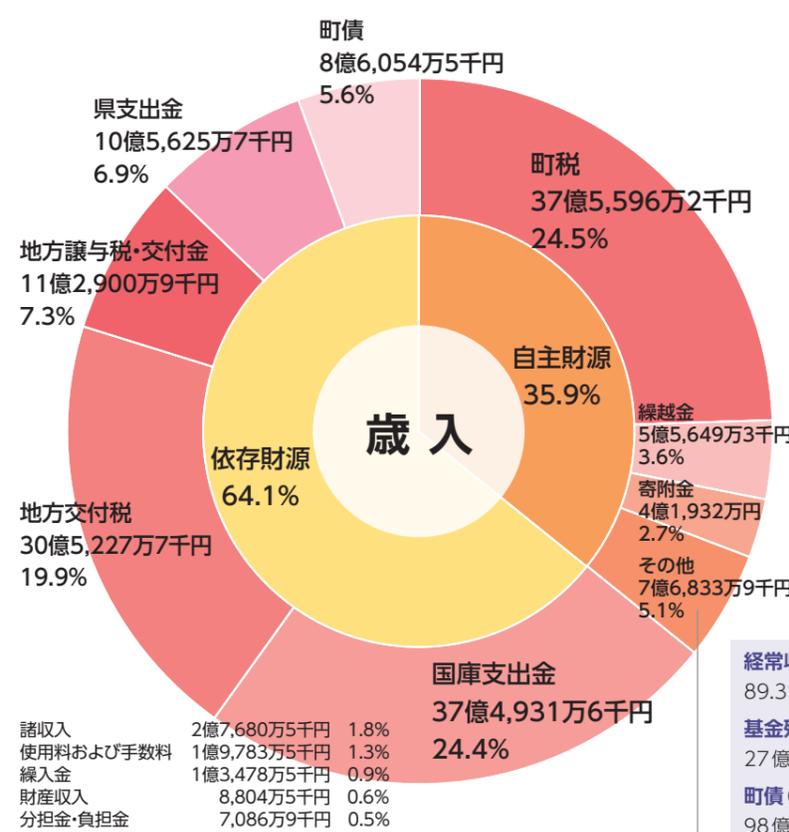
なお、財政構造の弾力性を表す指標である経常収支比率(※1)は、地方交付税や地方消費税交付金など、歳入の一般財源

問 財政課 財政係  
☎934-2247 FAX933-7512(代)

## 歳出 145億6,846万2千円



## 歳入 153億4,751万8千円



## 町民一人あたりの決算

収入合計	410,966円	支出合計	390,105円
町税	100,575円	総務費	63,757円
町民税	48,786円	町の全般的な管理運営	164,624円
固定資産税	41,210円	民生費	164,624円
軽自動車税	3,039円	(児童・高齢者・障害者の福祉)	37,196円
町たばこ税	7,540円	教育費	44,325円
繰入金(貯金の取崩し)	3,609円	(学校運営・スポーツ文化振興など)	44,325円
国庫の補助金	12,681円	衛生費	44,325円
地方交付税など	111,964円	(健康の維持増進・ごみ処理など)	28,181円
町債(借入金)	23,043円	土木費	28,181円
その他	43,094円	(道路・下水道・公園の維持管理)	25,446円
		公債費	25,446円
		(町の借金の返済金)	12,913円
		消防費	12,913円
		(消防・防災)	900円
		商工費	900円
		(商工業の振興、観光促進)	3,039円
		農林水産業費	3,039円
		(農林業の振興)	2,944円
		議会費	2,944円
		(議会の運営)	506円
		労働費	506円
		(就業対策など)	6,274円
		災害復旧費	6,274円

※令和3年4月1日現在の人口：37,345人で計算

◆**経常収支比率**  
89.3% (対前年度比 6.4ポイント改善)

◆**基金残高(町の貯金)**  
27億7,730万8千円 (対前年度比 5億7,239万3千円増)

◆**町債(町の借金)**  
98億3,571万4千円 (対前年度比 5,094万3千円減)

## 健全化判断比率と資金不足比率

財政の健全度を測る4つの指標と公営企業の資金不足比率について、算定結果を次のとおり公表します。令和3年度決算に基づく町の健全化判断比率などはいずれも早期健全化基準(=黄色信号)以下の水準を保っています。

	宇美町	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	-(*1)	13.79%	20.0%
連結実質赤字比率	-(*1)	18.79%	30.0%
実質公債費比率	7.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-(*2)	350.0%	
資金不足比率	-(*3)	20.0%(経営健全化基準)	

※1 黒字のため「-」と記載しています。  
 ※2 将来負担すべき額より充当可能財源が多かったため「-」と記載しています。  
 ※3 資金の不足がなかったため「-」と記載しています。



▲ひばりが丘法面災害復旧工事の様子

## 特別会計決算額(特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計)

会計名(事業名)	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	44億3,421万4千円	40億5,972万6千円	3億7,448万8千円
後期高齢者医療特別会計	4億6,843万2千円	4億4,654万8千円	2,188万4千円

## 公営企業会計決算額(自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計)

会計名(事業名)	区分	収入	支出	収支差引額
下水道事業	収益的収支※2	8億2,501万7千円	7億3,029万4千円	9,472万3千円
	資本的収支※2	4,444万3千円	3億4,871万3千円	△3億4,277万円
流域関連公共下水道事業	収益的収支※2	9億9,634万円	9億65万円	9,569万円
	資本的収支※2	4億5,981万9千円	6億7,257万2千円	△2億1,275万3千円

※2 収益的収支:上下水道料金などの収支  
 資本的収支:施設建設などの収支